

年頭所感



富里市長
五十嵐 博文

明けましておめでとうございます。
市民の皆様におかれましては、令和6年の新春を健やかに
お迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年8月の市長選挙では、市民の皆様の温かい御支援を
賜りまして、引き続き富里市政を担わせていただき、
その職務と責任の重さに身の引き締まる思いであります。
これまで、歳入改革による持続可能なまちづくりを目指して
実施した取組が一つひとつ実を結び始め、富里の新たな
まちづくりを展開しています。
2期目の市政につきましても、歳入改革を継続するとともに、
市制20周年を契機に希望と活力がある元気なまちに
発展するよう行った「とみさと元気なまち宣言」のもと、
健康・福祉・教育分野等を重点に力を注いでまいります。

本年は、歳入確保につながる取組を一層強化するため、
地域未来投資促進法・県条例・地区計画制度などの状況
に適した制度を活用しながら、積極的な企業誘致の展開
を継続してまいります。

一方で、これからの富里を担う若い世代が、結婚から
子育てまでの各ステージにおける希望を実現できるよう、
具体的な支援策を検討していくため、昨年、庁内に
「結婚から子育てまでの重点支援プロジェクト」を立ち上げて
おります。

市民の皆様が将来にわたって展望を描ける環境を整える
ため、結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を
拡充することで、改めて住んで良かったと思っていだける
富里を目指してまいります。

具体的には、保育士を確保するため、民間保育施設で
働く保育士等の給与に市独自の補助金を上乗せすることで、
保育士の雇用環境の充実に努めます。



また、市独自の新たな子育て支援事業として、小学校・
中学校に入学を控える子育て世帯に「とみさと入学お祝い金」
の支給を開始し、子どもたちの健康で豊かな成長を応援
します。

今後も、小・中学生の段階的な給食費無償化や、保育料
第2子の無償化などの早期実現を図ることで、子育て
世帯の経済的負担の軽減につなげてまいります。
さらには、本市は近隣市町と比較すると、高齢者施設が
少ない現状があり、入所の待機や市外での入所といった
ように、利用者にとっては大変御苦労が重なっている
ことから、高齢者施設の積極的な誘致を行うなど、
子どもから高齢者まで、全てのニーズに合わせた支援を
拡充してまいります。

また、近年、平均気温の上昇や局地的な豪雨災害など、
世界的にも地球温暖化が進んでおり、温室効果ガスの
削減に向けて、脱炭素社会への取組が急務となって
おります。

国の2050年の脱炭素社会の実現を見据え、二酸化炭素
排出量を実質ゼロにする「ゼロ・カーボンシティ」の
実現を目指すとともに、防災面においても平常時にも
役立つフェーズフリーなまちづくりを推進し、さらには
行政のデジタル・トランスフォーメーションやSDGs
など時代の変化を捉えた持続可能な強い行政をつくら
せてまいります。

今年の干支は「甲辰」で、^{きのえたつ}「成功という芽が成長していき、
形を整えていく縁起の良い年」とも言われています。
本市につきましても、総合計画に掲げるまちづくりの将来像
「心ひとつに 未来に向かって飛び立つ 躍動のとみさと」
の実現に向け、今まで着手してきた事業の効果を生み出す
ことはもとより、未来につながる取組に挑戦してまいり
ますので、皆様の一層の御理解・御協力をお願い
いたします。

結びに、本年が全ての市民の皆様にとりまして、実り多き
素晴らしい一年となりますよう心から祈念申し上げ、
新年の御挨拶とさせていただきます。